

2021年3月29日
株式会社商船三井
株式会社フェリーさんふらわあ
九州電力株式会社

日本初のLNG燃料フェリー「さんふらわあくれない」「さんふらわあむらさき」 2隻へのLNG燃料供給に関する基本協定書を締結しました

本日、株式会社商船三井（以下、「商船三井」）と九州電力株式会社（以下、「九州電力」）の2社は、商船三井のグループ会社である株式会社フェリーさんふらわあ（以下、「さんふらわあ」）が運航するLNG燃料フェリー「さんふらわあくれない」「さんふらわあむらさき」2隻（以下、「本船」）へのLNG燃料供給に関する基本協定書を締結しました。

LNG燃料の供給開始は、現在建造中の本船が竣工する2022年末頃を予定しており、大分県の別府港（第三埠頭北側岸壁）に着岸中の本船に対し、Truck to Ship方式^{*}で1日あたり約50トンを供給します。供給にあたっては、タンクローリー4台とスキッドと呼ばれる導管を接続し、4台同時に供給することで、LNG燃料の供給時間を短縮します。

※ 船舶へのLNG供給手法の一つ。係留中のLNG燃料船に対して、岸壁に駐車したタンクローリーからLNGを供給する方式

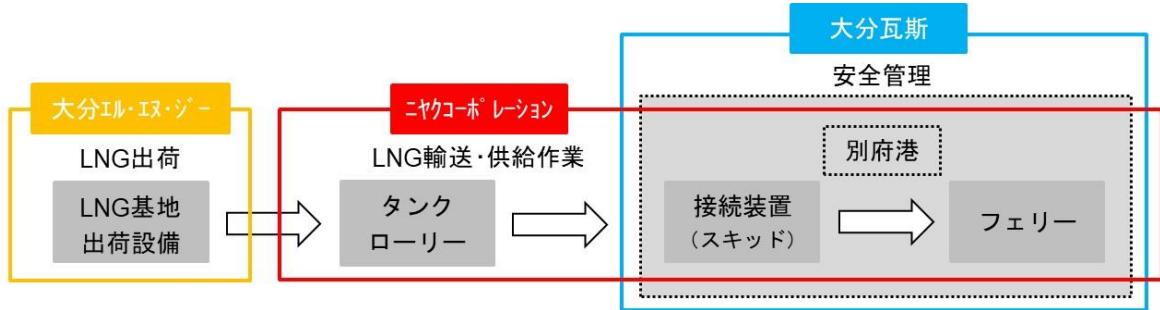
LNG燃料は、九州電力のグループ会社である大分エル・エヌ・ジー株式会社からタンクローリーで出荷し、燃料輸送及び本船への供給作業については、株式会社ニヤクコーコレーションが実施します。また、大分瓦斯株式会社が燃料供給中の安全管理を担うことで、出荷から輸送、供給までの体制を充実させ、安全かつ安定した供給を実施します。なお、LNG燃料は、九州電力から商船三井のグループ会社である商船三井テクノトレード株式会社を通じてさんふらわあに販売する予定です。

今回の取組みは、世界的な環境規制強化の中、船舶燃料の低炭素化を実現する有効な手段の一つと考えており、商船三井、さんふらわあ、九州電力は、今後とも環境負荷の低いLNGの導入促進を積極的に行い、低炭素社会の実現に貢献していきたいと考えております。

[タンクローリー4台とスキッドによるLNG燃料供給のイメージ]



[供給体制のイメージ]



<ご参考>

2019年11月20日発表プレスリリース

日本初のLNG燃料フェリー「さんふらわあくくれない」「さんふらわあむらさき」
2隻の建造を決定～最新技術による「環境負荷の低減」及び「モーダルシフトへの
対応」の達成と「伝統の継承」を共立させた大型フェリー～

<https://www.mol.co.jp/pr/2019/19088.html>

<会社概要>

会社名	九州電力株式会社	株式会社商船三井	株式会社フェリーさんふらわあ
代表取締役社長	池辺和弘	池田潤一郎	赤坂光次郎
本社所在地	福岡市中央区 渡辺通二丁目1番82号	東京都港区 虎ノ門二丁目1番1号	大分県大分市 生石五丁目3番地1号

以上